

自由市場と競争原理、通貨供給と通貨変動

KURODA International Foundation

Takeshi Kuroda

これらは生産における需要と供給における、経済主義と競争原理における現実の構築を世界が共有しているのである。通貨供給量は、インフレとデフレの創造を有し、通貨変動は、国家における資産価値の決定を与える。これらは国家が、自己の健全性を有することは財政の安定性と自己産業の育成を求めるのである。これらは国家運営が、学術性における正しい認識と判断において求められることを意味する。経済は、生活を与える手段である。これらは経済施策が、国家の利益において必要とされるのである。自由貿易ルールは、共有の利益において、その条約と同意を要求する。

これらは産業と国家の所有が、自国において求められるのである。これら経済の健全性は、正しい経済政策を要求する。

これらは、正しい経済の構築は、必ず国家における正しい理解と施策を必要とするのである。経済は次世代技術における新しい可能性を現実にも有する。これらは社会と生活の維持が、自国産業における供給を必要とするのである。

これらは世界の競争における経済が、その早いスピードにおける進歩と富の創造と独占を有するのである。これらは、自国産業における政治の理解と判断が、社会と生活の保護を可能とする。

経済の進歩は、学術の進歩と共に存在するため、これら形を変えた戦争という現実は、自国がその健全性を有することへ、正しい政治判断を要求されるのである。

環境負荷ゼロにおける経済の構築は、国家が自己環境の保護することへの正しい合意である。

これらは共有に利益における世界諸国との関係は、優れた未来の創造を可能とするのである。